

目の相談室 のびのび



福島県立視覚支援学校
地域支援センター
令和2.8.25 No.2

今年も残暑が続いている中、例年になく短い夏休みになった学校も多く、先生方におかれましては例年のない忙しい日々を送っておられることと思います。

さて、今回の目の相談室だより「のびのび」では、のびのび教室サポートクラブのお知らせや出前授業についてなどを紹介いたします。

* 感染症対策について *

面談での相談支援を行う際には、換気や消毒、担当者のマスク着用等の感染症対策を行って実施しています。相談時は、原則として検温やマスクの着用などをお願いしています。ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



また、以下の取り組みについては、今後感染症予防の観点から予定が変更になる場合があります。ご利用の際は、本校地域支援センターまでお問合せください。



のびのび教室サポートクラブについて



本校地域支援センターの担当者が各地域に出向いて行う「サテライト教室的相談会」です。

対象 見えにくさのある乳幼児、児童生徒や成人の方、保護者、ご家族、指導・支援にかかわる先生方、関係者の方

【第2・3回のびのび教室サポートクラブ】

時間 14:00~15:30

※参加者数によっては時間が前後することがあります。

相談内容 視機能評価、補助具の選定及び使い方の指導等、拡大教科書の文字の選定に関すること、点字の指導、歩行指導、あそびや学習、進路や就労に関すること等

県北地区	11月19日(木)	福島市保健福祉センター
県中県南地区	10月15日(木)	須賀川市教育研修センター
会津地区	9月3日(木) 12月3日(木)	会津若松合同庁舎
いわき地区	10月1日(木) 1月28日(木)	いわき市総合教育センター
相双地区	9月17日(木) 12月17日(木)	鹿島保健センター

※ 参加申し込みを希望される場合は、3週間前までにお申し込み下さい。

出前授業
受付中!

視覚障がいへの理解・啓発活動として、本校担当者が小中学校等へ出向いての出前授業を行っています。これまで出前授業を実施して、見えにくさから起こる困難さやサポートの仕方等、実感をともなった学びに繋がるとご好評いただいております。下記の内容をご覧ください、授業計画立案の際にご参考になさってください。

- 視覚支援学校についての紹介
 - ・本校児童生徒の授業や生活の様子を紹介
 - ・本校児童生徒が使いやすい道具や文房具の紹介
- 全盲の疑似体験
 - ・アイマスクを着用して、歩行体験や手引き体験（ガイド）を行う。
 - ・点字教科書を読んだり、50音表を見ながら点字を書いたりする。
- 弱視の疑似体験
 - ・シミレーションレンズ（見えにくさが体験できるレンズ）を着用して読み書き体験を行う。
 - ・携帯型拡大読書器、拡大教科書、大活字本、単眼鏡、ルーペ等の視覚補助具の体験を行う。
- 全盲・弱視の教員による体験談
 - ・生活の中で工夫していることや、障がいのある人もない人も社会の中で共に生きていくために必要なことについての話。



ご質問等ありましたら、いつでも受付いたします。



* オンライン教育相談について *

これまで実施してきた来校相談、電話・メールでの相談に加えまして、オンラインでの教育相談も受け付けいたします。感染症予防対策や、来校相談が難しい場合にご利用できます。状況に応じてご活用ください。

ご利用を希望される場合は準備が必要となりますので、下記の内容をご確認の上、本校地域支援センターへご相談ください。

対 象：本校への相談希望者（未成年者は、保護者の許可を得ること）

方 法：Google meet を利用しての実施

地域支援センター 目の相談室 のびのび

相談専用 TEL 080-7347-3908 mail shien-gr@fcs.ed.jp

〒960-8002 福島市森合町6-34

※地域支援センターは県立視覚支援学校に設置されています。

学校 TEL 024-534-2574 FAX 024-533-2470

ホームページ <https://fukushima-sb.fcs.ed.jp>